

## 草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ウズベキスタン国
2. 案件名	甘草の栽培・加工技術導入を通じた地域産業振興プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	事業対象地域のカシュカダリヤ州ヤッカバグ地区では、一般的な農作物よりも少ない水で栽培可能で、利用価値の高い薬用植物である甘草が約 3,000ha にわたり自生している。適切に処理した甘草は、甘味料および化粧品・医薬品原料・生薬として様々な商品開発が可能である。対象地域では塩害や水不足による農村部の困窮が課題の一つである中、現地農家および C/P は自生している甘草の価値および適切な栽培・加工・品質管理方法を知らないため、地域産業として活かせていない。対象地域における一人当たり GDP は 1,867USD とウズベキスタンの平均（3,113 ドル（2024 年：IMF 推計値））より低い。本事業では、C/P およびヤッカバグ地区 区長の全面的な協力のもと、地域農家に甘草の栽培・加工技術を移転し、産業振興につながる活動を実施する。
4. プロジェクト目標	対象地域において、国内の市場を考慮し、甘草の栽培・加工、商品開発ができ、販路が確立している。
5. 対象地域	カシュカダリヤ州 ヤッカバグ地区
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	事業対象地域の小規模農家 (ヤッカバグ地区約 7,500 人)
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット（成果）> 1. 小規模農家の環境（降水量、土壌等）で栽培できる甘草の栽培技術が対象地域で適用されている。 2. 甘味料および化粧品・医薬品原料としての甘草加工技術および品質評価・管理技術が対象地域で適用されている。 3. SHEP アプローチの概念を援用し、消費者のニーズに応じた商品開発がされ、販売先が決まっている。  <活動> 1. 甘草の優良株の選別手法および栽培技術の移転 2. 甘草の加工技術および品質評価・管理技術の移転 3. 甘草商品の市場開拓と商品開発の推進
8. 実施期間	2025年9月～2028年8月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	93,559 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	環境省林野庁附属薬用植物栽培・加工のため研究・生産センター
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	株式会社薬ゼミ情報教育センター
2. 主な活動内容	1.開発コンサルタント事業 2.薬剤師へ対する教育・キャリアサポート関連事業